



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第139号 発行日/2019.12.5

発行/ひたち生き生き百年塾推進本部

編集/百年塾情報部会



百年塾「お魚講演会とかまぼこ作り」

第1部 お魚講演会

講師: 河田 純さん(久慈町漁協会瀬支所漁労長)

第2部 かまぼこ作り

講師: 茨城県水産試験場職員

◇ 日時/令和2年1月19日(日)10:00~12:00

◇ 場所/会瀬青少年の家

◇ 募集/小学校4年生~6年生

◇ 申し込み/百年塾サロン ☎ 23-9165



おいでください

百年塾推進園・校報告会2019

□と き/令和2年2月8日(土)

13:30~15:50

□ところ/日立シビックセンター

多用途ホール

※時間は変更の場合があります

子どもも大人も みんなが楽しめる祭りに 百年塾フェスタ&子どもまつり2019

好天に恵まれた10月20日（日）「百年塾フェスタ&子どもまつり2019」が日立シビックセンター・マーブルホール周辺を会場に開催されました。両団体が共同開催をして2年目となる今年、家族連れなど子どもから大人まで約8,000人が会場を訪れ、秋の休日を楽しんでいました。

子どもたちの活躍の場に

今年の開会式は、司会、開会宣言とともに日立市子ども会連合会の子どもたちが行い、抜けるような青空に元気な声が響きました。



子どもたちが進行役

続いてのオープニング演奏は、「郷土芸能保存会日立風流物西町支部子ども鳴り物」のみなさんで、力強い太鼓の響きがフェスタのスタートを盛り上げました。

会場には約80のブースが並び、新都市広場では楽しさいっぱいの遊びのひろばをはじめ、子ども会のチャレンジゲームやクイズ大会など子どもたちの活躍の場が広がりました。シビックセンターギヤラリーでは各学区子ども会や職業探検少年団、推進園・校のパネルでの紹介などがあり、子どもたちの日頃の活動の様子が窺えました。

また、子どもたちに大人気のご当地キャラは今年も登場。子どもたちは一緒に歩いたり写真を撮ったりと大喜びでした。6体のご当地キャラを担当するのは、フェスタに毎年ボランティアとして参加

してくれている多賀・日立工業・日立二高・明秀日立の各高校の生徒のみなさんで、暑さも苦にせずサービス精神旺盛に小さな子どもたちと接する姿が爽やかでした。

小・中学生をはじめ大学生の参加や協力も増え、各ブースでの若い力の応援はフェスタにとって欠かせないものとなっています。

成果と今後の方向性

子ども会側でスタッフとして参加したお母さんたちからは「模擬店、ゲームコーナー、ワークショップ、展示、ステージと、分かりやすい配置がよかったです」「共催によって色々なコーナーができ、子どもたちも一日安全に楽しく過ごせるイベントとなった」との声が寄せられたほか「抽選会は子ども



さまざまなブースが並び会場は大にぎわい

求められる災害ボランティア

台風19号は、各地に大きな被害をもたらしました。未だ復旧・復興が進まない地域も多く、たくさんの人手が必要とされています。

災害に見舞われることが多くなってきた近年、被災地支援のボランティアも増えています。災害ボランティアとして被災地にどのような支援ができるか、先ずは正確な情報収集が大切とされます。分かりやすくイラストを使って解説

しているウェブサイトもありますので、一度、開いてみてはいかかでしょう。



水没した常磐道水戸北スマートIC付近（ニュース画像より）

にもわかりやすく」などの要望もありました。

フェスタ恒例のハロウィンパレードには、思い思いのコスチュームで今年も約100人が参加。イトヨーカドー一日立店の協力で店内を行進するなど楽しめたようです。

子どもたちの大好きな消防自動



イトヨーカドー店内を行進

車やバスの展示・体験も恒例となり、周辺地域や企業などとの連携が賑わいの創出につながることから、今後もより多くの連携を増やし継続させることの努力が必要とされます。

一方、秋は各地で様々なイベントがあり人が分散してしまうので、日程の調整や共同で行う方法も考えてほしいとの声が、来場者からありました。そのためには、市民

のみなさんが主役となって楽しんでもらえるイベントであることを第一に、多方面の団体や地域等との十分な事前の話し合いや準備が不可欠です。手をつなぐことの意義を再確認しながら、より楽しいイベントづくりを考えていきます。

【情報収集に役立つウェブサイト】

■全国社会福祉協議会(全社協)

被災地支援・災害ボランティアの情報など。

<https://www.saigaivc.com/>

■レスキューストックヤード

「災害ボランティアお役立ち情報」は、復興支援の基本と心構えから、服装、作業マニュアル、支援物資の送り方など実に細かくイラスト入りで掲載されています。

<http://rsy-nagoya.com/>

ウェブサイト出典：朝日新聞

交流を通して魅力ある活動を～百年塾カフェ～

今年度の新たな試みとして、「百年塾カフェ」がスタートしました。このカフェは、百年塾にかかる人たちが学び、語り合い、楽しむ交流の場です。

第1回は6月19日に「地域おこし協力隊」として中里・高原地区で活動し、念願の中里地区に定住となった與澤友貴子（よざわゆきこ）さんにお話を聞きました。

地域おこしとして、農産加工品や農業体験のPR、果物園、観光スポットのマップ作りの様子をはじめ、夢についても熱く語る姿に参加者は引き込まれました。その後グループごとに、市と地域の課題や活性化について意見の交換と発表をしました。

第2回目は9月25日に市民教授の根本裕美（ねもとゆみ）さんと「ひたちライナーの奏」のみなさ



実体験から日立の魅力を発信

によるライナー演奏と、根本さんの市民教授活動についてのお話でした。癒しの豊琴と呼ばれるライナーのゆったりと優しい音色が



美しい調べに満たされるひととき

みんなの心を癒してくれました。

根本さんは百年塾創設時に高校生でボランティアとして関わったことがきっかけで市民教授に登録し多方面で活躍。市民教授活動の活性化、地域への浸透に長く取り組んでいます。「活動を通して人とのつながり、学び、出会ったことが生きがいとなっています」と話す根本さん。百年塾の活動や学びの本質を参加者も再認識できたひとときでした。

今後百年塾では、カフェに関心のある人など多くのみなさんにも参加してもらえるような企画をしていきます。

県内最大の屋内型遊び場

イトーヨーカドー日立店4階に屋内型子どもの遊び場「Hiタッチらんど・ハレニコ！」（はいたつちらんど・はれにこ）が10月1日、オープン。親子連れで賑わっています。

この施設は、まちのにぎわい創出と子育て世代の交流・相談など子育て支援の場として日立市がかなでより整備していました。目的に応じたゾーンに区切られ、大小いろいろな遊具が設置されています。利用時間や料金、規約などお確かめの上、ご利用ください。



「Hiタッチらんど・ハレニコ！」受付

私たちが百年塾運動を応援します

2019.9.2～11.20（敬称略）

仙波嘉織 西内博 山本三男
西原功 朝日正子 佐藤隆行
後藤登喜雄 後藤恵美子
安部勝司 衣鳳 菊池庸子

常陸国風土記の世界を訪ねてみよう② 高市(たけち)と密筑里(みつきのさと)

奈良時代初頭、全国各地で風土記編纂（へんさん）が行われた中で、茨城県をまとめた「常陸国風土記」。シリーズの第2回は水木町一帯を記述したと思われる、高市(たけち)と密筑里(みつきのさと)を紹介します。

常陸国風土記の記載には、「高市より東北二里に密筑の里がある。村の中に淨き泉がある。人々は大井と呼んでいる。泉の水は冬温かである。夏の暑い時には、遠近の村里の男女は酒や料理を持って集まり、憩い、遊び、酒を飲み楽しむ」とあります。また「東と南は海辺で、右決明、うに、魚貝類が多く採れる。西と北は山野が広がり、椎、櫟、榧、栗の樹が生い茂り、鹿や猪が生息している。この豊かさ、海山の珍しい産物をすべてここに記すことはできない」ともあります。（※出典：日立市郷土博

物館発行『常陸国風土記にみる日立』）

高市(たけち)は一説には日立市大みか町、南高野町、石名坂町一帯にあたるとする説があるそうです。この付近は高台で古墳も多く、古代は郡衙（ぐんが）のある常陸太田市大里町から水木町に至る道筋



悠久の時を越えて湧き出る泉

でした。また高市は交通の要衝地であり、この地に各方面から特産物が集まり交易の場になっていたと考えられています。

密筑里(みつきのさと)は今の水木町、大井は泉が森とされています。そこに建つ泉神社の泉には今もこんこんと清水が湧き出でています。海にもすぐ近く10分も歩けば海岸にたどり着きます。今は防波堤で砂浜は見えませんが、かつては砂浜が広がる風光明媚な土地だったそうです。

1300年ほど前の遠い昔、人々は遠方から酒を持ち寄って泉が森に集まり、飲んで歌って遊んだ後は、歩いて海を散策していたのかもしれません。

風土記の地名を通して、遙か古代の人たちのロマンの香りが漂ってくるようです。

国体をおもてなしの心で 「案内ボランティア」

「いきいき茨城ゆめ国体2019」が成功のうちに終わりました。

日立市では、9月5日から国体終了の10月8日まで延べ48日間、JR日立駅、常陸多賀駅、大甕駅の各駅前に総合案内所を設置。案内ボランティアとして参加した日立のまち案内人12名が交代で、朝から夕方まで来場者の案内をしました。

参加した木村邦男さんは「パンフレット配布や会場へのアクセス案内をすることが主な内容です。心がけたのは、接するみなさんに気持ちよく過ごしてもらえること、地元の優れた観光、物産をア

ピールすることでした」と。初めて日立に来た人に対しては宿泊施設への交通案内、大煙突や風流物等の説明や市内の見所などをはじめ、天皇皇后両陛下のお出ましになられた場所や近場の観光案内、お勧めのお土産紹介等を行いました。これらは木村さんたち案内人にとっても新しい発見のある経験となったそうです。なかでも他県



暑い時こそ心をこめたおもてなしを

の人から「今まで行ったどの県の国体よりもおもてなしが良い大会だった」と褒められた言葉がとても嬉しかったと話しました。市の職員の方が会場との連携で、競技の模様をホワイトボードへ手書きで書いた速報は、通行中の人にも好評だったそうです。

来場者との会話や対応、一緒に活動した他組織のボランティアとの交流など、今後の日立のまち案内人としての活動に大いにプラスになったようです。

市民教授登録

2019.9月～11月に登録の方（敬称略）

■照山晃夫／多賀町
(国際理解)

■岡野友利加／相賀町
(プログラミング)

よろしく 市民教授・まち案内人です！

簡単レシピのフランス料理

ながおか

永岡かおるさん（フランス料理・お菓子）



14才の時に、クッキーなどで知られる「ステラおばさん」の本をもらったのをきっかけに、料理に興味を持つようになった永岡さん。社会人になってから東京のホテルやシェフの料理教室等、いろいろな所へ行き、フランス料理の知識や腕をみがいてきました。

料理を教え始めて8年、幼稚園児、小学生にはお菓子作りを、料理教室では代表的な料理を中心に、クラシックやモダンなものまで教えているそうです。「料理の基本・調理技術を身に付ければ、そこにいろいろプラスしてバリエーションが広がります。最初はホワイトソース、オムレツなど、家庭でも取り入れやすいメニューからスタートします。料理を好きになるとキッチンの使い方が上手になりきれいになります」と永岡さん。生活のなかに、料理を基本としたテーブルコーディネートや、好きなアロマの石鹼作りなど香りをプラスしていくことで心が豊かになるそうです。

予防医療からまちおこしへ

さがわしゅうへい
佐川修平さん（健康なカラダ作り）



嶋崎病院の理学療法士として活躍されている佐川さん。

これまで水戸市でプリスピフェスタ（Prevention Sports Festaの略）と題し、成長期の子どもたちにケガを予防するための正しい体の使い方を伝える予防医療のイベントを行ってきました。

今年「ただいまコーヒー」の和田さんの紹介で日立市でも予防医療に役立てばと市民教授に登録し、11月17日にインソールにパッドを貼り付けて歩き方を改善する「自分で作成インソール」の生き生き講座を開催しました。大人の予防医療としては姿勢講座もひたちなか市で行っており、来年は笠間市で足育の講座を6回に渡って行う予定だそうです。

将来の目標は姿勢、膝や腰の痛み等の予防医療のイベントを増やし、学校から依頼を受けて授業もやりたい、そして子供の健康が地域の活性化になり、まちおこしにもつなげていきたいと話します。

- 百年塾サロン(窓口)では以下の業務を行っています
- 百年塾推進委員登録の受付
- 市民教授の登録、紹介
- 講座・講演の受付
- 生涯学習に関する相談

ひたち生き生き百年塾推進本部

百年塾サロン（日立市教育プラザ1F）〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

☎0294(23)9165 FAX 24-5200

E-mail iki100j@net1.jway.ne.jp

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

【事務局】日立市教育委員会 生涯学習課

〒317-8601 日立市助川町1-1-1 ☎050-5528-5126

